

「現代文B」における「読むこと」の授業づくり ～「論理国語」を意識して～

0.はじめに

1.単元を通して生徒に身に付けさせたい資質・能力

2.単元の内容・構成

3.評価の場面の精選

4.指導案検討会参加者の声

5.研究授業参観者の声

6.授業者の感想



0.はじめに

令和4年度、東京学芸大学「探究プロジェクト」と北海道教育委員会の「授業改善セミナー」がコラボレーションし、授業者と複数の協力員が指導案の検討を重ね、セミナー当日に研究授業を行いました。

このスライドは、指導案検討から当日の研究授業後の協議までの流れを追体験し、御覧いただいた先生方の今後の授業改善にお役立ていただきたいという方針で作成しました。

皆様の御参考になれば幸いです。



1. 単元を通して生徒に身に付けさせたい資質・能力

本単元で、生徒に身に付けさせたい資質・能力は？

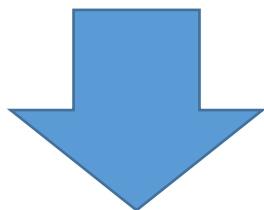
- ・ 話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと、どの領域ですか？
- ・ その領域のどの指導事項について、指導して身に付けさせたいのですか？
- ・ その指導事項を指導するための言語活動、教材は？



年間指導計画に明記すべきこと

今回の研究授業の授業者の思いは・・・

- ・ とても真面目で、何事にも一生懸命取り組む生徒が多い。
- ・ その反面、大人の言うことに疑問を持たないか、疑問を持ったとしてもそれを表現をしない生徒が多い。



そんな生徒に・・・

他人の意見を鵜呑みにせず、批判的に検討する力を身に付けてほしい



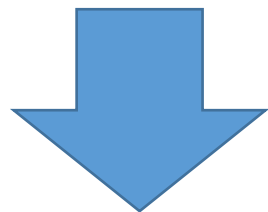
2. 単元の内容・構成

授業者の思いを踏まえ、研究授業の単元の目標を・・・

- 現代文 B (2 内容 (1) ア)

「文章を読んで、構成、展開、要旨などを的確に捉え、その論理性を評価している」に設定。

次年度以降を見据え、論理国語で授業をする場合も想定すると・・・



- 論理国語 (〔思考力・判断力・表現力等〕 B 読むこと (1) ウ)

「主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している」と設定

設定した目標（批判的に読む）を達成するための 単元を構想する

授業者が最初に提案した単元の内容・構成の案（案1）

① 筆者の主張を検証し、図式化する。



② 筆者の主張に対する違和感、疑問点を探す。



③ 出された疑問をもとに筆者への手紙文の形式で自分の意見を書く。

● 案1に対して検討会で出された質問・意見等

- ・生徒は今まで書く活動を通して読む力を培うような言語活動をしたことはあるのか。
- ・批判するとは、論理展開への批判なのか、文の中身自体への批判なのか。
- ・批判的に読むためには、筆者の考えを的確に捉える必要がある。それに加えて自分の考えを表現させるのであれば、それまでに踏むプロセスが大切である。
- ・言語活動はディベートなどにしたら生徒同士のレスポンスがあり、より考えが深まるのではないか。
- ・教材の中身を捉えているかどうか、生徒に模擬授業をさせるのもいいのではないか。



授業者のまとめ

- ・生徒の主体的で積極的な読みを引き出し、身に付けさせたいことを確実に身に付けさせるために言語活動などを整理したい。

授業者が2回目の検討会で示した単元の指導計画

5 単元の流れ			
次	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	① 「敬語とは何か」を考える。 ② 本文を通読し、疑問点を挙げる。 ③ 新出語句の意味調べ	① 百字程度で記述。ペアで読み合い。 ② 語句/内容に関する疑問点を挙げさせる。 ③ 本文理解に欠かせない熟語とその対義語など。 (個人の活動)	[関心・意欲・態度] 「記述の点検」 [知識・理解] 「記述の点検」
2	① 筆者の主張を図式化する。模造紙にまとめる。 ② ツッコミポイントを考える。 ③ 5分間で模擬授業をする。	① キーワードを確認させる。 「他人との距離」「共通語」「方言」「若者言葉」「家庭内の敬語」 ② 説明がうまくいかないところに注目させる。 (4人程度のグループ活動)	[知識・理解] 「記述の点検」 [読む能力] 「記述の点検」 [関心・意欲・態度] 「行動の観察」
3	① 発表を聞いた上で自分の意見・感想をまとめる。	① 他グループの発表を聞いて自分の考えを深めさせる。 (個人の活動)	[読む能力] 「記述の分析」

授業者が2回目に提案した単元の内容・構成の案（案2）

① 筆者の主張を図式化し、模造紙にまとめる。



② 筆者の主張に対する違和感、疑問点（ツッコミポイント）をグループで探す。



③ 各グループで出されたツッコミポイントを模擬授業の形で他の生徒に説明し、その後、自身で文章化する。

● 案2に対して検討会で出された質問・意見等

- ・ 模擬授業の後に自分の意見を文章化することのだが、その文章で本単元の目標が実現したのかどうかを評価するということでよいか。
- ・ 評価の場面が多いので、評価のポイントを焦点化する必要があるのではないか。
- ・ 本単元までに、文章を批判的に読むという活動がなかったのであれば、論理展開とは何か、それぞれの段落の役割はどうかなどの読み方について、まずは丁寧に指導する必要がある。
- ・ 文章を図式化するのでなく、それぞれの段落に何が書かれているのかを箇条書きにし、段落の役割を明確化する方がよいのではないか。
- ・ 今単元においては論理展開について批判するということがよいか。



授業者のまとめ

- ・ 本文の読み取りに関して、図式化することにこだわらず、もっと取り組みやすい方法を検討したい。

単元の流れ

次	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	1 導入 ① 「敬語とは何か」を考える。 ② 本文を通読し、疑問点を挙げる。 ③ キーワードを挙げる。 ④ 新出語句の意味調べ	① いつ、どんな場面で使うか。50字程度で記述。 ② 語句/内容に関する疑問点を挙げさせる。 ③ キーワードは頻出語句・タイトルで使用されている語句とする。 ④ 本文理解に欠かせない語句。 (個人の活動)	C 自分の考えを記述している。(記述の点検) A 語句の意味を理解している。(記述の点検) ワークシート No.1
2	2 評論の読み方を知る。 ① 「 キーワードによる分析 」 ② 「 段落の初めと終わりに注目する 」	① キーワード分析表を作成。色分けし回数を確認、本文の構造について気づきを整理させる。 ② 形式段落ごとに始めと終わりに注目させる。その文体にも注目。分析表も参照する。 (ペアワーク)	B 本文の構造を捉え、筆者の主張を理解している。(記述の点検) ワークシート No.2 C 意欲的に活動している。(行動の観察)
	3 筆者の主張を整理する。 「 ピクトグラムで説明する 」 ① キーワードのピクトグラムを考える。 ② 全体で筆者の主張を再確認する。	① ピクトグラムの例を挙げ、絵言葉で表現することを説明。「敬語」「共通語」「方言」のキーワードに基づき考えるように指示。 ② ピクトグラムを用いて筆者の主張を説明し直す。 (ペアワーク)	B ピクトグラムを作ることで筆者の主張への理解を深めている。(記述の点検) ワークシート No.2 C エ夫しながら取り組んでいる。(行動の観察)
3	4 考えを深める。 ① 本文批評「『 いいね! 』と『 なんでやねん! 』を見つける」① ② 共感・違和感の理由を探る。 5 ③比較読み 相反する立場で書かれた文章を読み、論を検証する。 ④本文批評「『 いいね! 』と『 なんでやねん! 』の見直し」 ⑤ 振り返り	① 筆者の主張に対する共感・違和感を感じる箇所を見つけ、付箋で視覚化、全体で共有。 ② 共感・違和感への理由を根拠・具体例とともにワークシートに記述。内容的な批評、表現的な批評を行う ③ 根拠と主張に注目して読む。どちらの論が納得できるか考える。 ④ 改めて筆者の主張に対する共感・違和感を見直す。 ⑤ 自分にとっての「敬語」を 50 字程度で記述。導入と比較して自己評価。 (個人の活動)	A 本文の語句の意味を理解し、正しく使用している。(記述の点検) B 本文を読むことで自分の考えを深めている。(記述の分析) ワークシート No.3

授業者が3回目に提案した単元の内容・構成の案（案3）

① 本文をキーワードで分析した上で、形式段落に注意しながら整理する。



② 筆者の主張をピクトグラムで整理し、説明する。



③ 筆者の主張に対する共感、違和感を具体的な理由とともに記述する。



④ 筆者の主張と異なる立場で書かれた文章を読み、筆者の主張を検証する。

● 案3 に対して検討会で出された意見等

- ・ 生徒がクリティカル・シンキングの考え方を上手く使えるようにすれば、キーワードによる分析やピクトグラム作成の作業は行う必要はないのではないか。
- ・ ピクトグラムについては授業者が作成した物を紹介するのはどうか。ビジュアルの情報があれば生徒の本文理解が深まるのではないか。
- ・ 今単元で大切なのは、生徒が文章中の主張と根拠を理解し、批判することである。それができるのであれば、他の文章を読んで比較しなくても単元の目標を達成できるのではないか。
- ・ 評価の場面については、もっと精選することができるのではないか。



授業者のまとめ

- ・ 3つの観点の評価場面を精選する。ピクトグラムの作成や、他の文章を読んで比較することについては、本単元の目標と生徒の実態を改めて考慮した上で、どうするか検討する。

授業者が4回目の検討会で示した単元の指導計画①

5 単元の流れ

次	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	<p>① 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ○評論の読み方を考える。 ○「敬語とは何か」を考える。 ○本文を通読し、疑問点・発見し たこと、キーワードを挙げる。 ○新出語句の意味調べ (個人) <p>②</p> <p>評論の読み方を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「文章を読むときに注目するところ」 ヒントを参考に、筆者の主張とその前提となる事実を探し本文に線を引く。(個人) <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「キーワードを押さえる」 それぞれのキーワードの内容を簡条書きでまとめる。 (個人) <p>筆者の主張の整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「主張を図解する」 <ul style="list-style-type: none"> ・グループ内で図をもとに説明 ・他グループと説明し合う。 ・全体で確認する。 (グループ・全体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな点に気をつけて読んでいるか。 ・いつ、どんな場面で使うか。 ・語句/内容に関する疑問点と発見したこと(新たな見方)を挙げさせる。キーワードは頻出語句・タイトルで使用されている語句とする。 ・本文理解に欠かせない語句。 ・評論の読み方のヒントを与える。「始めと終わり」「文末」「接続詞」「自問自答」などに注目させる。主張と前提となる事実を探させる。 ・提示したキーワードの説明を簡潔にまとめさせる。 ・「主張→事実→根拠→裏付け」の順で模造紙にまとめさせる。 ・裏付けをまとめる上で、キーワード同士の関わりを考えさせる。 ・前単元「クリティカル・シンキング」で使用した展開図を参考にする。 ・話し合う中で手直しをしながら図を完成させる。 ・論の展開に引っかかる部分はないか。 	<p>[知識・理解]①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張と根拠を把握するために文や文章の組み立てについて理解しているかを点検する。 <p>記述の点検(模造紙の展開図)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>④文や文章の組み立てに注意しながら本文を4つの要素に分けることができる。</p> </div>

授業者が4回目の検討会で示した単元の指導計画②

2	<p>⑤ 論理性を評価する</p> <p>○本文批評「『いいね!』と『なんでやねん!』を見つける」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の論の展開で説得力がある(いいね!)・説得力がない(なんでやねん!)と思う箇所を探す。(個人) ・図に付箋を貼り付け、理由を説明し合う。(グループ内) ・全体で発表し他の意見を知る(全体) <p>⑥ ○自分の考えを整理する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他の意見を聞き、説得力あり・なしと判断する理由を根拠・具体例とともに記述する。(個人) 	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の論の展開で説得力がある(いいね!)・説得力がない(なんでやねん!)と思う箇所を見つけ、付箋で視覚化する(模造紙) <p>【「いいね!」・「なんでやねん!」の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疑いを持って読む・一方的な見方はないか・説得力のある根拠、裏付けか。前提(事実)として適当か。筆者の意見に足りない視点は何か、など。 <ul style="list-style-type: none"> ・適宜メモをとるよう指示。 ・主張と根拠の関係など、論の展開についての批判になっているか軌道修正。 ・論の展開に注目させる。 	<p>[読む能力]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価しているかを分析する。 <p>記述の確認(ワークシート)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⑤筆者の主張を批判的に読み、説得力がある・ないと感じた箇所について、本文中の主張と根拠・論拠に着目し、理由・具体例とともに記述することができる。</p> </div>
3	<p>6 振り返り</p> <p>○評論の読み方について単元を通して変化したことや改めて考えたことを記述する。(個人)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・評論を読む時に意識することは何か、読み方が変化したか。 ・評論を読むときに気をつける点について、1次からの変化を記述させる。 	<p>[関・意・態]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・論理的な文章について、その内容や構成、論理の展開に着目し、読もうとしているかを確認する。 <p>記述の確認(ワークシート)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①1次から読み方の変化が見られる。</p> </div>

授業者が4回目に提案した単元の内容・構成の案（案4）

① 本文中の筆者の主張と前提となる事実、キーワードをまとめる。



② 筆者の主張を主張・事実・根拠・裏付けの4要素にまとめ図解する。



③ 図解をもとに、論の展開に説得力が「ある、ない」と思う箇所を探し、その根拠を明確にしてその理由を記述する。

論理国語における知識及び技能の目標の設定について

当初は「論理国語」の「2 内容」の〔知識及び技能〕
(1) のイの指導事項をもとに設定

「論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。」



単元の内容を検討していく中で・・・

(2) のアの指導事項をもとに設定することに変更

「主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。」

授業者や協力員にとっての学び ～目標の達成に向けて単元の内容・構成を考えるにあたって～

単元の内容・構成について考えていく中で、様々なアイデアがたくさん出てきて、全部詰め込みたくなってしまうことがある。

→それぞれはいいアイデアだとしても、全てが単元の目標の達成につながるものとは限らない。



単元の目標の達成という視点で、アイデアを取捨選択することがとても大切。

何を入れて、何を外すか・・・

2.単元の内容・構成

本時の指導案

現代文B 学習指導案（5時間目／6時間中）			
科目名	現代文B	単元名	筆者の主張にツッコミを入れよう ～違和感を追求する読みを目指して
本時の目標	・構成、展開 要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価している。（読む能力）		
本時で取り上げる 主な言語活動	本文批評「『いゝね!』と『なんてやねん!』を見つけよう」 筆者の主張をとらえた上で、説得力がある・ないと感じた理由を、根拠・具体例とともに記述する。		
教材	『敬語への自覚 他者への自覚』橋本台	実施対象	第2学年
本時における評価の観点、評価規準、評価方法	本時の評価の観点 読む能力	本時の評価規準 筆者の主張を批判的に読み、説得力がある・ないと記述の分析（ワークシート） 感じた箇所について、本文中の主張と根拠・論拠に着目し、理由・具体例とともに記述することができる。	本時の評価方法
学習活動（言語活動）	指導上の留意点		評価の実際
導入（5分） ・前時の内容、本時の目標の確認	<ul style="list-style-type: none"> 全体で展開図を見ながら、筆者の主張を確認する。 本時の目標を提示する。 		
本時のゴール：筆者の主張を批判的に読み、説得力がある・ないと感じた箇所について、本文中の主張と根拠・論拠に着目し、理由・具体例とともに記述することができる。			
展開（35分） ①各自、筆者の主張に説得力あり・なしを感じる箇所を見つけ、図に付箋を貼る。※（15分） ※説得力あり／黄、なし／青 ②班内でそれぞれの意見を交換する。（10分） ③班の代表者が全体で意見を述べる。（10分）	展開Ⅰ ①・視点を提示してから考えさせる。 【『いゝね!』・『なんてやねん!』の視点】 ・疑いを持って読む・一方的な見方はよいか、説得力のある根拠裏付けか。前提（事実）として適切か。筆者の意見に足りない視点があるか、など。 ・付箋に書くこと：氏名と通し番号①～ ②・話し合いがスムーズに行くように、司会を立てる。 ・意見交流の際は、説得力あり（なし）と思う箇所、その理由、具体例の3点を意見の中を含める。 ・自分の考えに近いもの、新たな発見などを素材メモとして残す ③・全体発表は一班1分程度で行う。 ・次時のまとめ活動できるように、ワークシートに適宜メモをとるよう指示する。 ・人の意見を聞くときのポイントを提示する。 偏った見方ではないか／論の展開に関する意見か ・見直しの時間を適宜入れる。	<ul style="list-style-type: none"> 構成、展開 要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価している。（読む能力） 『記述の分析』ワークシートのメモ 	
まとめ（5分） ・本時の目標を達成できたか振り返る。 ・次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張に対して、批判的な視点で読むことができたかワークシートに自己評価を記入させる。 次時は本時で考えたことを文章化すること、単元を通しての振り返りを行うことを予告。 		<ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張を批判的に読み、説得力がある・ないと感じた箇所について、本文中の主張と根拠・論拠に着目し、理由・具体例とともに記述することができる。



3. 評価の場面の精選

3. 評価の場面の精選

5 単元の流れ

次	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	<p>① 導入</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 評論の読み方を考える。 ○ 「敬語とは何か」を考える。 ○ 本文を通読し、疑問点・発見したこと、キーワードを挙げる。 ○ 新出語句の意味調べ (個人) <p>②</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 評論の読み方を知る。 ○ 「文章を読むときに注目するところ」 ヒントを参考に、筆者の主張とその前提となる事実を探し本文に線を引く。 (個人) ○ 「キーワードを押さえる」 それぞれのキーワードの内容を簡条書きでまとめる。 (個人) 筆者の主張の整理する ○ 「主張を図解する」 ・グループ内で図をもとに説明 ・他グループと説明し合う。 ・全体で確認する。 (グループ・全体) <p>③</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「キーワードを押さえる」 それぞれのキーワードの内容を簡条書きでまとめる。 (個人) <p>④</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「主張を図解する」 ・グループ内で図をもとに説明 ・他グループと説明し合う。 ・全体で確認する。 (グループ・全体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな点に気をつけて読んでいるか。 ・いつ、どんな場面で使うか。 ・語句/内容に関する疑問点と発見したこと(新たな見方)を挙げさせる。キーワードは頻出語句・タイトルで使用されている語句とする。 ・本文理解に欠かせない語句。 ・評論の読み方のヒントを与える。「始めと終わり」「文末」「接続詞」「自問自答」などに注目させる。主張と前提となる事実を探させる。 ・提示したキーワードの説明を簡潔にまとめさせる。 ・「主張→事実→根拠→裏付け」の順で模造紙にまとめさせる。 ・裏付けをまとめる上で、キーワード同士の関わりを考えさせる。 ・前単元「クリティカル・シンキング」で使用した展開図を参考にする。 ・話し合う中で手直しをしながら図を完成させる。 ・論の展開に引っかかる部分はないか。 	<p>[知識・理解]①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の主張と根拠を把握するために文や文章の組み立てについて理解しているかを点検する。 <p>記述の点検(模造紙の展開図)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>④文や文章の組み立てに注意しながら本文を4つの要素に分けることができる。</p> </div>

3. 評価の場面の精選

2	⑤	<p>論理性を評価する</p> <p>○本文批評「『いいね!』と『なんでやねん!』を見つける」</p> <p>・筆者の論の展開で説得力がある(いいね!)・説得力がない(なんでやねん!)と思う箇所を探す。(個人)</p> <p>・図に付箋を貼り付け、理由を説明し合う。(グループ内)</p> <p>・全体で発表し他の意見を知る。(全体)</p>	<p>・筆者の論の展開で説得力がある(いいね!)・説得力がない(なんでやねん!)と思う箇所を見つけ、付箋で視覚化する(模造紙)</p> <p>【「いいね!」「なんでやねん!」の視点】</p> <p>・疑いを持って読む・一方的な見方はないか・説得力のある根拠、裏付けか。前提(事実)として適当か。筆者の意見に足りない視点は何か、など。</p>	<p>【読む能力】</p> <p>・構成、展開、要旨などを的確にとらえ、その論理性を評価しているかを分析する。</p> <p>記述の確認(ワークシート)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>⑤筆者の主張を批判的に読み、説得力がある・ないと感じた箇所について、本文中の主張と根拠・論理に着目し、理由・具体例とともに記述することができる。</p> </div>
3	6	<p>振り返り</p> <p>○評論の読み方について単元を通して変化したことや改めて考えたことを記述する。(個人)</p>	<p>・評論を読む時に意識することは何か、読み方が変化したか。</p> <p>・評論を読むときに気をつける点について、1次からの変化を記述させる。</p>	<p>【関・意・態】</p> <p>・論理的な文章について、その内容や構成、論理の展開に着目し、読もうとしているかを確認する。</p> <p>記述の確認(ワークシート)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>①1次から読み方の変化が見られる。</p> </div>



4 .指導案検討会参加者の声

4. 指導案検討会参加者の声

- 教材があって目標があるのではなく、まず目標を設定し、**目標の達成に向けて教材や言語活動を設定する**のだということに改めて気付いた。
- 単元の目標を達成するために、色々なアプローチがあることに気付くことができた。
- 次年度は自分が授業者となり、新学習指導要領の科目で研究授業を試してみたいと思った。
- 自校で授業をする際にも、**単元の目標をしっかりと意識していきたい**。
- 自校には自分しか国語科の教員がいないので、色々な考えを聞くことができるとてもよかった。
- これからは、**目標と指導内容、目標と評価の一体化について、十分に意識した授業づくりをしていきたい**。



5 .研究授業参観者の声

○ 研究授業参観者の声①

- ・ 「批判的に読ませる」という取組はしたことがなかったので、今回の授業を参考にやってみたいと思った。
- ・ 論理的な文章の読み方について指導した上で、筆者の主張を捉えさせ、さらには筆者の主張に対する自分の考えを記述させるという一連の指導の流れがとても参考になった。
- ・ 「共感」、「違和感」を「いいね」、「なんでやねん」というフランクな言葉に置き換え、生徒が取り組みやすいようにしていた。こうした少しの工夫で生徒の取り組み方は変わると思う。
- ・ 文章の内容を生徒に図式化で整理させ、その図式を見て生徒がどれだけ読めているのかを評価するという説明が、これから自分が評価の方法を考えていく上で非常に参考になった。

○ 研究授業参観者の声②

- ・ 「いいね」を省き、「なんでやねん」に焦点を当てた展開にした方が、生徒のすることが絞られてよかったのではないか。
- ・ 批判的に読むことでどのような力が身につくのか、どのような視点が得られるのかを生徒に伝えることが重要なのだと感じた。
- ・ 15分で取り組む課題としては難易度が高いと感じた。
- ・ 本時の取組について理解しきれないまま、グループワークを始めている生徒もいたため、もう少し時間をかけて説明した方がよかったのではないか。
- ・ 読ませたいポイントを例示するなど絞ると、よりよい実践になったのではないか。

○ 研究授業参観者の声③

- ・ 内容理解、本文に対する批判的検討、自己の考えの表現それぞれにおいて評価の場面が設定されており、生徒の学習状況を多面的に見ることができるよう工夫されていたと思う。
- ・ 評価方法が「記述の確認、点検、分析」となっていたので、書くことは苦手だが、実は読み取って理解することはできているという生徒の評価についてどのようにしているのか。
- ・ 評価の妥当性を高めるためにも、生徒の学習履歴を残すためにもICTのツールは積極的に取り入れていく必要がある。
- ・ 今回、生徒を評価する際のポイントとして、「根拠」立てができているかがあると思う。その部分をより授業内で強調することで、生徒が目標の達成により近づいたのではないか。



6. 授業者の感想

約三ヶ月という時間をかけ、多くの先生方にアドバイスをいただきながらの研究授業は、大変貴重な経験となりました。指導案検討会の中で、自分だけでは思いつかないアイデアをいただいたり、新たな知識を得たりすることもでき、苦労というよりも楽しく充実した時間を過ごせたことを嬉しく思います。

本単元を終え、多々反省点がありますが、これからも学習指導要領をよく読み込んで、今後の指導に活かしていきたいです。

制作・協力

北海道教育委員会 国立大学法人東京学芸大学